

さんむわくわく館は、ほっとできる場所を見つけないと思っている子どもや自分の時間を有意義に過ごしたいと思っている子どもの居場所です。

たった2分間 されど2分間

お子さんと1日どれくらい会話をしていますか。

「早くご飯を食べて!!」、「早く宿題やりなさい!!」これは会話ではなく「指示」や「命令」です。

1日2分間で良いのでお子さんの話に耳を傾けましょう。

「ねえ、ママ。」、「ねえ、パパ。」とお子さんが話しかける時は、自分の気持ちを伝えたかったり、出来事を共有してほしかったりする時です。

話を聴くときは、

『たった2分間
されど2分間』

- ① スマホを置いて
- ② お子さんの方を向いて
- ③ うなずきながら
- ④ 口を挟まずに
- ⑤ 2分間黙って聴く



2分間、話を聴くと話の内容が分かり、お子さんも満足できます。

自分の方を向いてくれた。話を聞いてくれた。自分を尊重してくれたと思い、それだけで自信がつき、心が安定します。また、話すことで自分の気持ちを整理したり、新しい視点で解決策を見つれたりすることができるようになります。

口を挟んでしまいそうな時は、

聴く時の基本
『さ・し・す・せ・そ』

- さ：さすがだね（褒める）
し：知らなかった（驚きや関心を示す）
す：すごいね（感心する）
せ：センスいいね（評価する）
そ：そうなんだ（共感する）

話を聴くことは、お子さんの自己肯定感を高め、想像力や共感力を育むためにとても有効です。体に栄養を与えるのと同じように、お子さんの心に栄養を与えましょう。

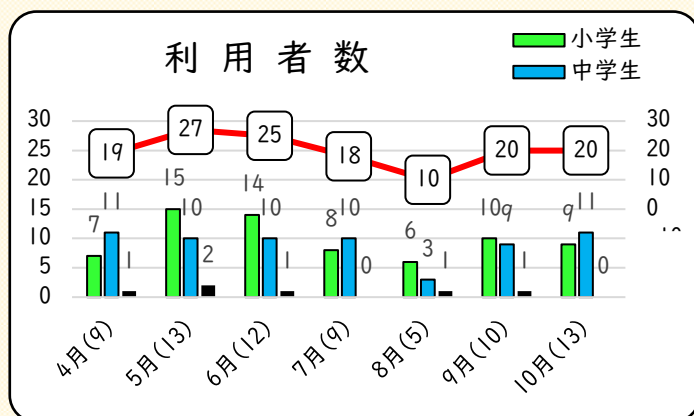
さんむわくわく館 『五つの理念』

- 1 《一人一人のペースを大切にします》
みんなといっしょに過ごすことも、一人でゆっくり過ごすこともできます。
- 2 《一人一人の違いを認め尊重します》
週に何日、いつ来ていつ帰るか、1日をどう過ごすかなど自由に決められます。
- 3 《一人一人の興味・関心に寄り添います》
好きなことや、やりたいことに、時間とスペース（施設・設備）をたくさん使えます。
- 4 《どうしたら実現できるか一緒に考えます》
どうしたいかを見つけることから、できるようになるまで、親身に応援してもらえます。
- 5 《自分たちの力で創り出すまで見守ります》
みんなでアイデアを出し合い、日々の過ごし方を自分達でプランします。

2 学 期 の 様 子

「学校に行きたくない。」この言葉が最も多く聞かれるのは、9月とされています。

下のグラフにあるように、「さんむわくわく館」でも利用者数や相談者数が増えています。



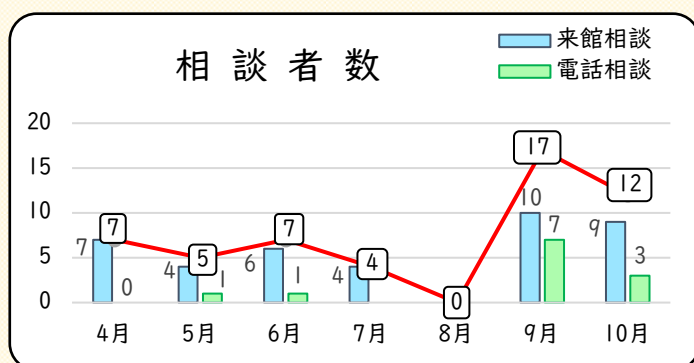
お子さんが友達関係で悩むことはよくあります。そんな時、安易に「仲良くしなさい」と言うのは効果がないばかりか、逆効果になることもあります。

まずはお子さんの訴えをよく聴いてあげてください。

そして、冷静かつ客観的に判断した上で、どうすればその悩みを解消できるのか一緒に話し合ってみてください。

これは、お子さんが目の前の課題を解決するだけでなく、今後の課題も自ら解決していく手助けとなります。

子育てについて困りごとがある場合は、一人で抱え込まず、まず誰かに相談することをお勧めします。



さんむわくわく館

月・水・木曜日 [9時～19時]
祝日・年末年始・夏・冬季休業日を除く

0475 (53) 5976

山武市成東 2553-1 (浪切不動産脇)

Email gaa.wakuwakukan@gmail.com

<https://gaawakuwakukan.wixsite.com/my-site-l>

学校との連携

さんむわくわく館の利用状況は
学校と情報を共有しています

利用対象

0～18歳までの子どもとその保護者
※未就学児は保護者の同伴が必要です

利用料

無 料 ※事前に登録と予約が必要です

NPO 法人教育サポートG A A

当法人は、教育活動全般にわたる支援を目指して設立されました。小・中学校での学習支援のほか、公民館での漢検・数検・英検講座の支援やさんむわくわく館でのプログラミング講座などを行っています。